

能代北高等学校 中期ビジョン（五カ年計画）

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

① 学校の現状や課題

能代山本地区中学校卒業生数は、平成23年3月に784人であるが、5年後の平成28年3月には130人減少して654人となり、その後600人台で推移する。平成33年以降は更に減少が進み500人台まで落ち込むことが予測されている。そうした状況の中、第五次後期計画に従い、能代北高校と能代商業高校は平成25年4月に統合することが決定されている。平成23年度入学生が統合校第一期生となるため、平成21年6月には能代地区統合高校（仮称）準備事務局が能代北高校内に設置された。準備事務局内の各検討チームによって平成23年4月段階で必要な項目について検討が行われ、平成22年6月には統合校の制服を決定し、地元紙等に公表した。地元中学校に対しては、学校説明会等を通じて統合校基本理念等を広報した。また平成22年3月には統合校基本設計も完成している。

ただ、教育課程の大枠や生徒指導の規定などは整合性を図ったものの、校則やその他の諸規定の制定は開設準備室の指導のもと今年度からの取り組みである。また、生徒同士の交流も文化祭の相互訪問や芸術鑑賞教室の共催などを実施しており、統合校の第一期生が入学したことで、更なる発展が期待されるところである。



② 学校を取り巻く将来の状況の予測

平成25年4月の段階では、統合した本校を含め能代地区の高等学校は5校体制となるが、時期は不明ながら能代工業高校と能代西高等学校の統合（能代地区統合校Ⅱ）が計画されており、将来的には能代高校、本校（能代地区統合校Ⅰ）、能代地区統合校Ⅱ、二ツ井高校の4校体制になり、4校で500～600人の中学生を受け入れることになる。（データは「第六次秋田県高等学校総合整備計画」資料編による）

本校（能代地区統合校Ⅰ）においては、平成26年3月に一期生が卒業することになる。平成28年3月には、統合校に入学し三年間統合校で学んだ三期生が卒業する。平成31年3月には六期生が卒業し、進学していた二期生が大学を卒業する。「グローバルな視野で未来を切り拓く力を育む」を基本理念とし、普通科、国際コミュニケーション科、情報ビジネス科の三学科体制を持つ統合校の評価が、この時期の進学実績や就職実績等によって固まってくると思われる。



本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

③ 目指す方向性や学校像

平成25年4月開学の統合校の目指す姿は以下のように定められている。

1 基本理念等

「グローバルな視野で未来を切り拓く力を持つ人間の育成」
－「ディベート力」と「プレゼンテーション力」の養成を教育の柱とする－

2 教育目標

- (1) 生徒の個性を尊重し、主体的に夢に向かって歩いていける人材を育成する。
- (2) 国際感覚やコミュニケーション能力を身に付け、明日を担う人材を育成する。
- (3) たくましい心身を持ち、創造性豊かな人材を育成する。

3 教育方針

両校の「節操高潔」（能代北）と「誠実剛毅」（能代商業）の校風を受け継ぎ、次の教育方針を定める。

- (1) 自主的な学習態度を身に付け、学力の向上を図る。
- (2) 基本的な生活習慣を確立し、豊かな思いやりの心を育む。
- (3) キャリア教育の推進により、生徒個々の能力を最大限に伸ばし、進路実現を図る。
- (4) 郷土や日本の文化を尊ぶ気持ちを育み、国際教育を積極的に推進する。

4 特色ある教育活動

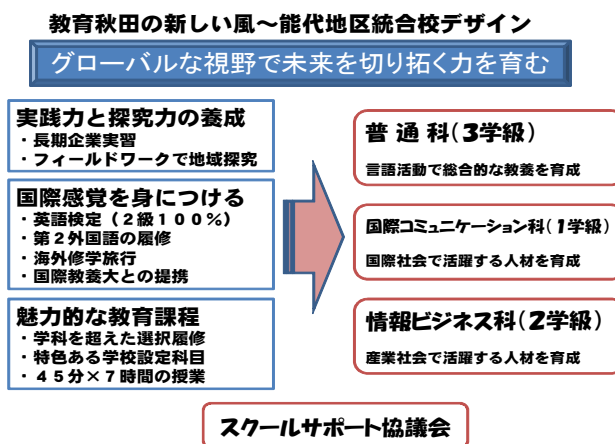
(1) 実践力と探究力の養成

- ① 「総合的な学習の時間」の充実と、「ディベート力」、「プレゼンテーション力」の練磨。
- ② 能代市の立地条件を最大限に生かした「地域探究」活動の展開。
- ③ 能代版デュアルシステムによる県内最長の長期企業実習の実施。

(2) 国際感覚の涵養

- ① ICTの活用と、コミュニケーション能力の育成。（全学科）
- ② 第2外国語の履修。
- ③ 英語による各種弁論大会への参加。（国際コミュニケーション科）
- ④ 海外研修、姉妹校提携、海外修学旅行等の実施。留学生との活用及び外国人講師の常駐。（国際コミュニケーション科・普通科）

(3) 「スクールサポート協議会」（仮称）の設置及び支援



本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

④ 5年間で達成を目指す具体的な目標

○普通科

教科横断的な言語活動及び探究活動を通じて、「ディベート力」と「プレゼンテーション力」を磨き、総合的な教養と社会性を培い、地域社会で活躍できる人材を育成する。

従来の文系・理系のようなコース制はとらず、生徒の多様な進路希望に沿うような科目を設置し、その中から選択できる仕組みを構築する。

教科横断的な「総合的な学習の時間」において、「ディベート力」と「プレゼンテーション力」を身に付け、大学の推薦入試、AO入試、就職面接に生かす。

○国際コミュニケーション科

「ディベート力」や「プレゼンテーション力」を身に付け、実践的英語コミュニケーション能力と豊かな国際感覚を培い、国際社会に貢献できる人材を育成する。

特別進学クラスと位置付け、一般受験で合格できる学力を養成する。

英語の履修単位が多く、大学入試において武器となる英語力を養成する。

学校設定科目「コミュニケーションラボ(仮称)」を設置し、英語によるコミュニケーション能力とICTの基礎を身につける。

英語検定2級全員合格、第2外国語能力検定4級取得を目指す。

○情報ビジネス科

情報化・国際化・サービス経済化に対応できるコミュニケーション能力とビジネスの知識・技術を身に付け、高度な資格を取得し、産業社会で活躍できる人材を育成する。

会計、情報、流通の3コースを設置し、それぞれに必要な専門知識・技術を身に付け、高度な資格を取得し、進路希望の実現を目指す。

起業家や地元産業の即戦力としての実力を培う。

具体的な取り組み等

○能代北高校における取り組み

①英語検定において、2級受検者増を働きかけ、同級合格者を増やす。

②海外修学旅行、海外研修及び姉妹校交流を実施する。

③国際教養大学と連携した授業やキャンプを実施する。

④国公立大学・難関私立大学への進学者増を実現する。

⑤地域貢献ともいえるアイデア合唱、老人施設等への交流合唱などの充実。

